

- 問1 1872年の学制公布から義務教育の確立に至るまでの、当時の教育をめぐる実情を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
1. 就学率は公布直後から男女ともに90%を超え、急速に識字率が向上した
 2. 学校の建設費用や授業料の負担が重かったため、各地で農民らによる反対運動が発生した
 3. 学制の公布と同時に、すべての小学校在国費によって運営される無償教育が始まった
 4. 義務教育の期間は最初から6年間と定められ、全国一斉に同じカリキュラムが実施された
-
- 問2 明治時代初期、群馬県に設立された官営模範工場では、多くの女性たちが並んで座り、機械を用いて生糸を紡ぐ作業に従事していました。この工場や当時の状況について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 福島県公立入試 類似)
1. 民間企業が経営し、深夜営業を含む過酷な労働環境によって綿糸の輸出量を飛躍的に増大させた。
 2. 日清戦争の賠償金をもとに建設され、鉄鋼の国産化を実現することで日本の重工業の発展を支えた。
 3. 全国から集まった土族の娘らが工女として働き、習得した技術を地元を持ち帰って製糸技術の普及に貢献した。
 4. 周辺地域で大規模な鉱毒事件が発生し、田中正造がその被害を訴えて議会で政府の責任を追及した。
-
- 問3 明治政府が1873年に実施した地租改正において、それまでの「収穫高に応じた米での納入」から「地価に応じた現金での納入」へと仕組みを改めた最大の目的として適切なものはどれですか。 (2025年 三重県公立入試 類似)
1. 豊凶による農作物の収穫高の変動に左右されず、政府が安定した税収を確保するため
 2. すべての農地を政府の所有物とし、小作料を直接徴収する仕組みを整えるため
 3. 江戸時代よりも農民の負担を大幅に軽減することで、全国で頻発していた一揆を鎮めるため
 4. 海外から輸入される安価な農作物に対抗するため、国内の米の価格を政府が管理するため
-
- 問4 明治政府が実施した地租改正の仕組みについて述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 秋田県公立入試 類似)
1. 土地の所有者が、その土地の価格(地価)の3%を、豊凶に関わらず現金で納める。
 2. 土地の所有者が、収穫高を基準として算出された金額を、物価の変動に合わせて現金で納める。
 3. 土地の耕作者が、地価の3%に相当する額を、政府の指示に従って米または現金で選択して納める。
 4. 土地の耕作者が、その年の収穫高の3%を、地券の交付を受けた後に米で納める。
-
- 問5 地租改正に際して、政府は全国で土地の測量を行い、地価や所有者を記した「地券」を発行しました。この制度において、政府に対して直接納税の義務を負うことになったのはどのような人物ですか。 (2021年 岐阜県公立入試 類似)
1. 地券を交付された土地の所有者
 2. 村全体を代表して税をとりまとめる庄屋
 3. 実際にその土地を借りて耕作している小作人
 4. 廃藩置県によって領地を失った旧藩主
-
- 問6 1872年に明治政府が公布した、日本最初の近代的で統一的な学校制度を何というか、名称を答えなさい。 (2020年 愛知県公立入試 類似)
1. 義務教育令
 2. 学校教育法
 3. 学制
 4. 教育基本法
-
- 問7 明治政府が「廃藩置県」を行い、中央集権体制の確立を目指した理由として、最も適切な説明はどれか。 (2018年 岡山県公立入試 類似)
1. 全国の徴税や軍事の権限を中央政府に集中させ、欧米列強に対抗できる近代国家の基盤を固めるため
 2. 各藩の自主性を尊重して地方自治を強化し、地域ごとの産業を発展させて国力を養うため
 3. 江戸時代の幕藩体制を維持しながら、天皇を中心とした新しい武士の組織を再編するため
 4. 土地と人民を一度藩主に返還させることで、旧来の主従関係を強めて国内の混乱を鎮めるため
-
- 問8 1873年から実施された地租改正では、当初、税率は地価の3%と定められていました。しかし、負担の重さに苦しむ農民による反対一揆が各地で激化したため、明治政府は1877年に税率を何%に引き下げましたか。 (2019年 大阪府公立入試 類似)
1. 2.5%
 2. 3.5%
 3. 1%
 4. 5%
-
- 問9 明治政府が地租改正において、税の基準を「収穫高」から「地価」へ、納入方法を「米(物納)」から「現金(金納)」へと変更した最大の目的は何ですか。 (2017年 神奈川県公立入試 類似)
1. 土地の売買を厳しく制限することで、農民が土地を手放して都市へ流出するのを防ぐため。
 2. 小作人の税負担を大幅に軽減し、農村における貧富の差を解消するため。
 3. 作物の豊凶や米価の変動に左右されず、政府が安定した税収を得られるようにするため。
 4. 江戸時代の石高制を維持したまま、農民が自由に農作物を売買できるようにするため。
-
- 問10 明治政府が、それまでの「収穫量に応じた米による納入」から、地租改正によって「地価を基準とした現金による納入」へと税制を変更した主な理由は何ですか。 (2019年 香川県公立入試 類似)
1. 天候や豊凶による収穫量の変動に左右されず、政府の税収を安定させるため。
 2. 武士の特権を維持するために、米よりも管理が容易な現金を蓄える必要があったため。
 3. 欧米諸国からの圧力により、日本の通貨価値を国際基準に合わせる必要があったため。
 4. 農民が市場の価格変動を利用して、より高い利益を得られるようにするため。
-
- 問11 明治初期の改革において、政府は財政の安定を目指して税制を根本的に見直しました。それまでの年貢の仕組みと、地租改正によって導入された新しい仕組みの比較として適切なものはどれですか。 (2018年 北海道公立入試 類似)
1. 収穫高に応じた米の納入から、収穫高に応じた現金の納入に変わった
 2. 収穫高に応じた米の納入から、地価に応じた現金の納入に変わった
 3. 村ごとの集団責任による納入から、個人の収穫高に応じた米の納入に変わった
 4. 地価に応じた米の納入から、地価に応じた現金の納入に変わった
-
- 問12 明治政府が、地方を治めていた藩を廃止して県を置き、各県に中央政府から官吏を派遣して直接支配を行うことで、日本を一つの政治体制にまとめようとした改革を何といいますか。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)
1. 廃藩置県
 2. 徴兵令
 3. 地租改正
 4. 版籍奉還
-
- 問13 五箇条の御誓文に関連して、新政府が目指した国家像についての記述として、正しい事例はどれですか。 (2017年 和歌山県公立入試 類似)
1. 藩の制度を維持したまま、徳川家を中心とした連合政権を組織する。
 2. キリスト教を信仰することを認め、欧米諸国と対等な外交を始める。
 3. 旧来の悪い習慣を捨て、天地の公道に基づいた政治を行う。
 4. 知識を世界に求めることをやめ、日本独自の伝統文化のみを教育の柱とする。